

おおとり会だより

「おおとり会」のこれから

会長 鈴木 木明美

(被服学科・大学二回生)



周りの木々が芽吹き始め、新緑の美しい季節を迎えようとしています。会員の皆様には、ご健勝のことと存じます。

世界各地で争いが起こり、また異常気象による災害が度々発生し、多くの尊い命が失われています。一日も早く平穏な日々が訪れますことを願わずにはいられません。コロナの5類移行後、少しずつ以前の賑わいが戻ってきました。その渦中にもおおとり会では、縮小規模ながら総会を開催し、昨年は、剣祭にも親子連れの方々に昔の遊びを体験してもらい、喜んでいただきました。

六月の総会では、今後の総会の持ち方や今後のおおとり会についてアンケート形式でご意見を伺いました。具体的に列記しますと、久しぶりに出席して旧交を温める機会となり参加しよかったです。『徳川家康と静岡』の講演は、タイムリーでよかったです。お元気な先輩の方々のお話やお姿から元気をもらいました。おおとり会のパワーを感じました。おおとり会だよりを楽しみにしている。おおとり会を今後も続けてほしい。会員の高齢化もあり、会の閉会も考える必要があるのでは。等々。紙面に書き尽くせない貴重なご感想、ご意見をいただきました。皆様のご意見を反映したより良い活動を目指していきたいと思っています。

年々高齢化と会員減少の進む会ですが、今後も会員相互の親睦を図り、恩師の先生のご近況などもお伝えしたく、さらに県大学生さん達の応援や地域貢献をも果たすつもりです。今後共にご支援をよろしくお願い申し上げます。

おおとり会基金につきましては、大勢の皆様からご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

最後になりましたが、尾池学長先生はじめ、小林副学長先生、細川学生部長先生、芹澤学生室長様には常々ご理解、ご支援いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

恩師の先生方、会員の皆様のご健康をお祈り申し上げ、ご挨拶にかえさせていただきます。

静岡県立大学 『学生ボランティアセンター』

特命担当大臣表彰に選ばれる

昨年の会報で紹介した「学生ボランティアセンター」が、子育て支援団体などを対象とした子ども家庭庁の推進する『未来をつくるこどもまんなかアワード』において、表彰されました。おめでとうございます。

「たべものカフェ」の運営など、困窮した学生への支援活動にあたる学生たちに、私たちおおとり会も引き続き応援をしていきたいと思います。



第1回「未来をつくる こどもまんなかアワード」
令和5年11月27日(月) 於：こども家庭庁14階共用大会議室

詳細は

学生ボランティアセンター Twitter



☆連絡先 静岡県立大学 学生ボランティアセンター
Twitter : @shizubora
Instagram : @shizu_bora
Gmail : pre.volunteercenter@gmail.com

支援を希望される方は、『おおぞら基金』へ寄付をお願い致します。

振込先は 郵便局 口座名：静岡県公立大学法人
口座記号番号：00820 2 154381

※通信欄に、寄付の用途として「学生支援 たべものカフェ」と必ず記入してください。



JR静岡駅地下道にて 募金活動

輝く女性シリーズ IX



『好き』を仕事にして…… 青年海外協力隊を経験して

今井 奈保子 被服学科(大学十八回生)

現在、静岡市葵区駿府町にフェアトレードショップ「Tei^テebom^{ホム}」を開いていらっしやる今井さんをご紹介します。今井さんは、大学卒業後、一般企業に就職され、当時としては数少ない女性管理職の道を選んだにもかかわらず、青年海外協力隊に参加したことをきっかけに、ご自分でフェアトレード店を始める決意をされました。



JICA 青年海外協力隊時代
～民族衣装のサリーを着て～

JICA(独立行政法人国際協力機構)青年海外協力隊に参加しようと思ったきっかけは、北海道出張し、札幌から小樽へ向かう電車の中刷りに「青年海外協力隊員募集!」という広告を見て、「あ、海外の人たちってどんな感じなんだろう」と興味がわいたからです。と言うのも、当時、外資系のコンサルタント会社の人たちと仕事をしていて、外国人の上司や同僚の物事のとらえ方や仕事の仕方が私とは異なっていて、何だかモヤモヤ、それが何なのか解き明かしたい気持ちがあったのです。海外で暮らしてみたらきっと、そのモヤモヤの理由がわかるんじゃないかって! 協力隊に参加するために、仕事をしながら、夜間大学に通い準備をしました。ポスターを見てから1年半

後には、選考に合格し、スリランカに行けることになりました。幸い、勤め先ではボランティア休暇を取得することができたのですが、入社5年目で、本社勤務をしていた私の決断に両親は、「なぜ?」とすぐに理解ができなかったようです。でも流石、私の両親、「もう行くって決めたんだよね」と。娘のことをよくわかっています。そして、母は「もし若かったら、私も

行きたかった。私の分もいろいろ体験してきて!」と送り出してくれました。そこで、経験したことが今の私の考え方やライフスタイルに大きく影響を与えてくれました。

青年海外協力隊で2年、帰国後、職場復帰をしたのですが、わずか1年後には、辞令で再びスリランカへ、そして帰任して10ヵ月後には転職。転職先の日本法人の現地責任者として再々スリランカへ! 合計で約11年間滞在しました。日本以外の場所で暮らすことで、最初は日本のように衛生的ではない、日本のようにみな勤勉ではない、日本のように約束を守ることを大切にしない……と、日本と比べては、イライラ

したり、怒ったり、落ち込んだりしていましたが、いつしか、日本は日本、ここではこれが当たり前なんだ。文句を言ったところで、どうにもならないんだ。逆に、目があったらにっこり、そして、「元氣?」困っているときは、「どうしたの?」と見知らぬ人が気軽に声をかけてくれる。職場の同僚からは、「一人でご飯食べるなんてかわいそう……うちにおいで」とか「ほら、お弁当作ってきてあげたよ」「このサリーを着て!」といういろいろお世話をしてもらいました。(笑) 郷に入っては郷に従え、のことわざの通り、自分の狭い価値観にとらわれることなく、自分が今いるその土地で暮らす人たちの文化や習慣を尊重し、受け入れることで相手を理解することができると学びました。

スリランカでの経験があったので、その後のミャンマーやサモアでの滞在は、その土地に慣れることもスムーズで、逆に、自分自身がマイノリティーであって、周りの人とは違うんだ! という立場から、日本に住んでいる外国人が戸惑ったり、不安に思ったり、日本人って???と

思っているんじゃないかと考えるようにもなりました。その考えにさらに拍車がかかった



スリランカで、農村の女性たちにパッチワークを教え、商品化しているところ

のは、43歳でオーストラリアに留学した時でした。オーストラリアは移民国家です。様々なバックグラウンドを持つ人達がいっしょに暮らしています。そのような環境下では、常識だと思つてゐることですら通用せず、以心伝心なんて流ちょうなことは言つていられず、何でも言葉にして発しないと自分の存在すら認めてもらえなくなります。大学院では、とにかく自分の意見を発言する、しないと授業に参加できない状況を体験しました。「○○さんと同じ意見です」なんて言うと、「えっ、何それ?」つて感じで、相手にしてもらえませんが日本だと主張しすぎ・・・目立ちたがり・・・などと思われてしまふのですが、これが文化の違いなんです。それともう一つ大きな違いは、とにかく学生は皆必死めちやくちや勉強します。図書館もコンピュータラボも常に満席でした。

また、オーストラリアでは、フェアトレードやオーガニックの商品が専門店だけでなく、スーパーマーケットや駅のキヨスク、カフェなどに比較的普通にあり、生活の中に当たり前に存在している印象を受けました。

フェアトレードやオーガニックの商品に関心がある私が留学した目的は、貧困や児童労働、それに環境問題などの社会課題をビジネスとして取り組む「社会企業」について学ぶことでした。スリランカやミャンマーなどの開発途上国の人々が抱える課題をODAやNPOではなく、民間事業者がビジネスとして取り組むことを日本で実践したかったからです。フェアトレードやオーガニック商品を企画・輸入・販売し、途上国の小さな生産者の課題にアプローチする、このことを45歳からの私の「ライフワーク」にするために留学しました。

約20年近く海外に滞在して、最後の滞在地オーストラリアで無事大学院を修了して、自分がやりたいことを形にするために2010年2月に日本、地元静岡に戻りました。

周囲の人たちは、なぜ企業で役職についていたのに、



シドニー大学大学院の卒業式

大学院まででいるのに、こんなお話を始めるの不思議がりました。私がフェアトレードのお店を開きたいと両親に話した時は、「ない」と両親に話

んでお姉ちゃんがコーヒーを焙煎しないといけないの? 大学院で学んだことを仕事に活かさないの?」と疑問を投げかけられました。海外駐在で私が頑張っていたこと、管理職になり忙しくも充実して働いていたことを両親はきつと頼もしく思つてくれていたんだと思います。それに、シドニー大学大学院の修士論文で93点という好成绩を獲得し、卒業式にも出席してくれた両親は、私が古びた商店街の端っこでわずか15㎡ほどの小さなお店を開きたいと話しても、なかなかすんなりとは理解してくれませんでした。でも、協力隊の時と同じように、「もう決めたんだよね。お姉ちゃんがよく考えて決めたことなら、お父さんとお母さんは応援するよ」と言つてくれました。感謝です。

フェアトレード専門店の平均寿命(お店を始めてから閉めるまで)は2年未満といわれています。そこを私は20年続けようと思ひ、大学院で学んだことを活かしてビジネスモデルを作りました。45歳で始めたから65歳までは頑張ろう!と。ところが、開店して半年後に東日本大震災が起きました。そして2020年初めからは新型コロナウイルスのパンデミック・・・さらにはウクライナ・ロシア、パレスチナ・イスラエル問題と世界中で苦難が続いていますが、まさに、こんなときだからこそフェアトレードが大切だと思つています。ビジネスモデル通りにはいかないことも多いですが、
Never Give Upで続けています。今年

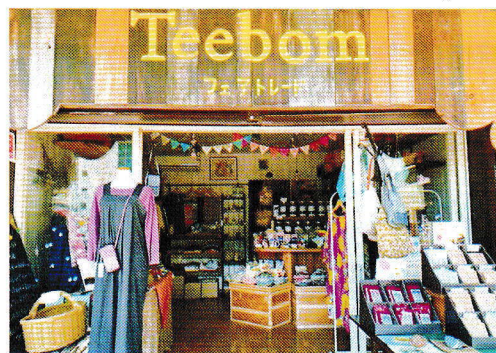
は開業から15年目、私は15/20とカウントしています。事業を大きくすることに注力せず、続けることを目的にしています。利益を少しずつ上げながら、社会貢献を継続することを必須条件にしています。それはお店以外の活動にも広がつていて、国立大学法人静岡大学の非常勤講師として授業を受け持ったり、特定認定NPOアフガニスタン復興支援カレージの会の活動に参加させていたたりしています。

好きなこと・興味関心のあることが自分のライフワークとなり、糧となつていくことがとてもありがたい、うれしいです。

自営業で定年はありませんので、できるだけ長くお店は続けたいと思つていますが、できれば体力があるうちに、もう一度海外ボランティアをしたという夢を持っています。まだまだワクワクが止まりません!

※フェアトレードとは
立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立をめざす貿易のしくみ

立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立をめざす貿易のしくみ



フェアトレードショップ Teebomの外観



コーヒーの焙煎のため生豆を取り出しているところ

令和五年度総会報告

令和五年六月十一日(日)アイセル21において、おおとり会総会が開催されました。今年も同窓生のみによる議事の報告・承認と講演会だけで、懇談会は省略した縮小形式で行われました。

今年は五月より、新型コロナウイルス感染症が五類感染症に緩和されたことや、講演内容が今話題の徳川家康であったおかげか、昨年度よりも大勢の同窓生の皆様が参加して下さい、県外からお越しになった方もいらつしやるなど、大盛況でした。

また、今年も恩師の先生方をお招きできませんでしたが、梅雨でお足元の悪い中、長きに亘りおおとり会の初代会長を務められた牛木様、副会長原様、前会長長屋様、副会長青木様がご出席下さいました。

おおとり会が発足して71年、短大一回生の牛木様の若々しいお姿に、参加者一同、感嘆いたしました。



第一部は、令和四年度決算報告・会計報告及び会計監査報告があり、続いて事業計画案・予算案が提案され、審議致しました。いずれも賛成多数により可決承認されました。

また、今年度は役員改選期にあたり、役員選考委員により提案された結果、理事(被服学科)に一名の交替就任があり、他は続投が承認されました。

そして、今年度のおおとり会賞の受賞団体には、昨年度、静岡2部リーグにて秋季リーグで優勝し、本年度は1部リーグに昇格された準硬式野球部が選定されました。

第二部は、NPO法人静岡市観光ボランティアガイド駿府ウエイブ前理事長の内山和俊氏による講演『徳川家康と静岡』が行われました。

今年一月、静岡市歴史博物館がオープンし、また、NHK大河ドラマ『どうする家康』の放映による相乗効果で、全国から大勢の観光客や歴史ファンの方々が、現在、徳川家康に関する企画展が開催中の歴史博物館に来場し、また、家康公とゆかりのある浅間神社や久能山東照宮などにも、聖地巡礼のごとく静岡に訪れているそうです。それらのガイドで大変ご多忙の中、内山様はたくさんの方の投影画像や配布資料を準備して来て下さり、駿府で人生の三分の一を過ごした徳川家康にまつわる興味深い史実

を楽しくわかりやすく説明して下さいました。聴講後には、地元長年暮らしていても知らなかったことを多く知り、家康公を身近に感じられたとか、後日、改めてガイドを受けてみたい、との感想を頂きました。



来年度の総会も感染症等が更に緩和され、遠方からの同窓生も来られる状況となりますように、また、ゆっくり歓談する時間や場を持つことができますよう、心より願っております。

岡田仁美(食物学科・大学十八回生)

剣祭 昔の遊びにチャレンジング Part IV

令和五年十月二十八日(出)、剣祭初日におおとり会は、四回目となる、昔の遊びにチャレンジングで参加しました。

今回は、『おり紙』のコーナーで、ペロペロキヤンデイーという新作を掲げて臨みました。ちょうどハロウィンの日と重なって、子供たちの自由な色彩感覚で手作りをしてみたい、楽しいひとときとなりました。かわいいスタンプカードを手に、『スーパースターボール』、『おはじき』、『豆つかみ』と喜々としてコーナーを巡る親子連れに、私たちまで笑顔になった一日でした。

新型コロナウイルスが少し落ち着き、イベント開催の場がもどってきて、改めて人と人が集う楽しさを味わえたように感じました。



静岡県立大学 同窓会連合会

同窓会連合会

●令和五年四月二十日

(開学記念日)

開学記念行事シンポジウム参加

●令和五年十月二十八日

(剣祭初日)

『ホームカミングデー』開催

静岡女子短大・大学

校章誕生

ほれ話



皆さん、遠い昔、思い出の入学式の日、短大・大学から校章のバッチを渡されたことを覚えていますか？昭和26年に城北高校の講堂で行われた静岡女子短期大学の入学式から、昭和61年、静岡女子大学最後の入学式までの36年間、お茶の花の校章が皆さんの元へ贈られました。

では、この校章は、一体誰がデザインしたのでしょ？（理事の間で話題になりました。）調べてみると、何と短大被服学科一回生の松田千恵子（旧姓・林）さんと中村淑子（旧姓・高橋）さんによる共同デザインだったことが判明しました。中村さんは残念なことに、昨年（令和五年）七月に亡くなられていました。そこで、松田さんに、七十年以上前の記憶を辿っていただきました。

松田さんも中村さんも、城北高校の美術部に在籍していた親友同志。そしてともに、静岡女子短期大学一回生として入学されました。お二人とも市内にお住まいで自転車通学をされ、駿府城公園のお堀端にあった『あおい文庫』で、よくデザインの本を見ていたそうです。「あのお茶の花のデザインは、その辺りで考案したのかしら？」と松田さんが懐かしく語ってくださいました。

余談となりますが、東京の大学に進学を希望していた松田さん、しかし東京にはまだアメリカの進駐軍が駐留していた時代で、親御さんは、そんな所に娘を出せないという思いが強かったそうです。そこに県立の女子短大が静岡に設立されるとあって、こちらにぜひ進学をと勧められたそうです。他の多くの親御さんもお様の思いだったでしょう。

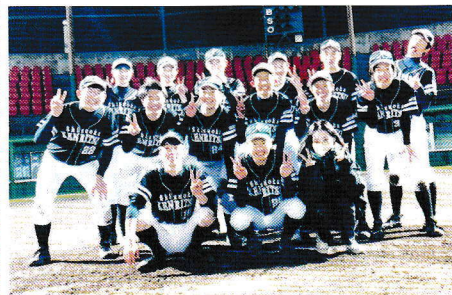
静岡初の県立女子短大といっても、お二人が卒業した城北高校での学生生活ですから、あまり変化がな

はばたき寄金

令和四年度の『おおとり会賞』は左記の『準硬式野球部』が選出され、令和五年四月二十日の開学記念行事において表彰されました。

準硬式野球部

私たち準硬式野球部は「静岡リーグ優勝」を目標に日々、活動しています。経験者だけでなく未経験者も楽しく活動しています。準硬式野球部には監督やコーチがいまませんが、その分部員一人一人が主体的に考えて、意見を出し合うことでより良い部活を作りあげています。



つたのでは、という私の想像とは異なり、県内いたるところから通学してきた学友は、高校とはまた違った雰囲気をもとっていて、とても新鮮で本当に楽しい学生時代だったそうです。

さて、この校章がどのような意図・経緯で作られたのか、詳細は定かではありませんが、体育の藤田純男先生が城北高校から短大へ続けて教鞭をとられたご縁もあって、松田さんと中村さんに仲立ちをされたという情報は得られました。デザインの考案者のお一人である松田さんに貴重なお話をさせていただけたこと、心から感謝申し上げます。

榛葉良之助先生を悼んで

食物学科大学十五回生 朝倉 真理子

大学では榛葉先生の研究室でしたが、卒業してからはしばらくお会いする機会もありませんでした。しかし、私がおおとり会の幹事になってからは、総会でお会いできるようになりました。

おおとり会総会での榛葉先生は、女性の先生方の中でいつも笑顔で楽しそうにしておられたのが印象的でした。会場が県立大学からクーパーホール会館に変わってからも、コロナ禍前までは、毎年元気なお姿を見せて下さいました。

最近ではコロナで総会を中止した後、規模を縮小して、会場もアイセルに変更した為、恩師の先生方をお呼びする事も出来ませんでした。しかし、昨年は榛葉先生が百歳になられたという事で喜んでおりました。お元氣であると感じていましたが、八月に訃報が届き、残念ですが、やはり百歳という事で、天寿を全うされたのだなと思えます。心よりご冥福をお祈りいたします。



祝百寿 食物学科同窓会 会報より

山本恵美子さん逝く

長年に亘り、おおとり会の為にご尽力くださいました山本恵美子さんが令和五年十月、84歳でご逝去されました。会務に携わるお姿は常に前向きで、恵美子さんの中には、おおとり会に対する強い思いがいつもあったと思います。明るく活発な性格で、会の大きな支えであり、私達後輩のお手本でもありました。ご生前の功績に心からお礼を申し上げ、謹んでご冥福をお祈りいたします。お世話になりました。伊藤玲子（食物学科・大学十二回生）

令和4年度 決算報告書

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

総収入 6,550,314円 総支出 898,409円 残高 5,651,905円(繰越金)

(単位:円)

収入の部					支出の部				
費目	予算額	決算額	増減	備考	費目	予算額	決算額	増減	備考
預金利息	1,000	361	-639	定額郵貯・通常郵貯	事業費	200,000	101,788	-98,212	総会、剣祭
基金入金	500,000	1,439,318	939,318		会議費	150,000	79,238	-70,762	役員会、理事会、会報編集会議等
剣祭収益金	0	0	0		印刷費	20,000	3,062	-16,938	会議用資料、総会資料
					通信費	20,000	10,372	-9,628	会議通知、連絡等
					慶弔費	50,000	0	-50,000	
					事務雑費	20,000	11,240	-8,760	写真代、通知票送料
					サキデザイン社	220,000	180,400	-39,600	会報、総会案内印刷
					株サラト	600,000	512,309	-87,691	会報・総会案内発送業務、メンテ契約料
					予備費	80,000	0	-80,000	
小計	501,000	1,439,679	938,679		小計	1,360,000	898,409	-461,591	
前年度繰越金	5,110,635	5,110,635	0		次年度繰越金	4,251,635	5,651,905	1,400,270	
合計	5,611,635	6,550,314	938,679		合計	5,611,635	6,550,314	938,679	

上記のとおり報告致します。

令和5年3月31日

会長/鈴木明美

会計/井上明子・大倉一美

監査の結果、相違なく適正と認めます。令和5年4月9日

会計監査/森田光江・三浦育美

令和5年度 予算

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

総収入 5,702,905円 総支出 5,702,905円 残高 0円

(単位:円)

収入の部					支出の部				
費目	5年度予算額	4年度予算額	増減	備考	費目	5年度予算額	4年度予算額	増減	備考
預金利息	1,000	1,000	0	定額郵貯・通常郵貯	事業費	200,000	200,000	0	総会、剣祭
基金入金	50,000	500,000	-450,000		会議費	150,000	150,000	0	役員会、理事会、各委員会
剣祭収益金	0	0	0		印刷費	20,000	20,000	0	会議用資料、総会資料印刷
					通信費	20,000	20,000	0	会議通知、連絡等
					慶弔費	50,000	50,000	0	弔電、香典、記念品等
					事務雑費	20,000	20,000	0	文具等
					サキデザイン社	220,000	220,000	0	会報、総会案内印刷
					株サラト	600,000	600,000	0	会報・総会案内発送、メンテ管理料
					予備費	80,000	80,000	0	
前年度繰越金	5,651,905	5,110,635	539,532		次年度繰越金	4,342,905	4,251,635	91,270	
合計	5,702,905	5,611,635	89,532		合計	5,702,905	5,611,635	91,270	

*他費目への流用を認める

前年度繰越金内訳 (郵貯定額貯金 4,181,886円) + (郵貯通常貯金 83,831円) + (振込み口座 1,386,188円) = (合計 5,651,905円)

住所変更および住居表示変更の場合は下記の名簿係またはクラス幹事までご連絡ください。
尚、クラス幹事は変更内容を各科の名簿係にお知らせください。変更はホームページ上でも受け付けております。

おとし会会員名簿変更についてのご案内

- ★国文学科 萩倉あおい
- ★英文学科 瀧 智子
- ★食物学科 赤堀美里
- ★被服学科 長田直子

お知らせ

私は何回生?

今年度から、おとし会通知の封筒の表面、宛名住所の上に、あなたの情報 **大学が短大 学科 ○○回生** かを短く漢字で表記します。ご確認ください。

例) 従来 短大、英文科 7回生… (TE07) ⇒ (短・英07)
今回から 大学、被服科 15回生… (DH15) ⇒ (大・被15)

おとし会ホームページへようこそ!

おとし会の最近の情報を掲載しています。静岡県立大学のホームページからもアクセスできます。ぜひ、ご覧下さい。

★アドレス <https://dousukai.site/ootorikaihp/>



編集委員 石田加苗・岩崎たか江
加藤久江・森 恵美

訃報

令和四年十二月二十日 寂

静岡県立大学教授

高瀬 幸子先生 (八十九歳)

令和五年八月七日 寂

静岡女子大学名誉教授

榛葉良之助先生 (百歳)

御冥福を心からお祈り申し上げます。